

国政を担う政党・政治家のあり方について

現在の国政を見ていて、「我が国の政権が国家の体をなしていない」と感じる方は多いと思います。中国、韓国、ロシア、北朝鮮等との様々な外交問題においても、我が国の発言力は、戦後いまだかつてないほどまで低下しています。防衛、経済、震災対策等においても、政府の無策ぶりは明らかです。

こうした状況の中で、政局は、民主党の分裂、野田内閣の政権基盤の一層の不安定化により、ますます流動的な状況となっています。民主党の分裂は、当初から予想されていたことで、主義主張の異なる集団が一つの党としてまとまっていくなか、そうした無責任な政党が政権を担ってしまつたことが、国内外に大きな問題を引き起こしてしまいました。外交をめぐる周辺諸国との問題だけではありません。福島第一原発事故の問題については、国会の事故調査委員会報告書でも明確に「人災」とされ、「官邸が事態を混乱させた」とされています。長引くデフレ不況等の経済対策に関しても、長期的な視野に立つた政策が実行されていません。

このままではますます国際社会における日本の地位は低下の一途をたどってしまいます。将来世代に誇りを持って引き継げる力強い国家を再構築していくことが、現在の日本にとって、最重要の課題となっています。

いくら「政治主導」のスローガンを掲げても、肝心の政治家が国の政治を担う覚悟と度量を有していなければ意味がありません。一刻も早く

国民の皆様への信を受けた政治家が責任を持って政策を着実に実行することが必要です。

「社会保障と消費税の一体改革」についても、十分な理論構成と説明が必要です。確かに、現在の国の財政は危機的な状況にあります。ギリシャのように国家財政そのものが破綻することは避けなければなりません。同時に、今後高齢化は一層進行し、社会保障関連経費が増加することも明らかです。こうした緊急性の観点から、自民党も消費税関連法案には賛成の立場をとりました。

しかし、今後、国民の納得を得られる抜本的な行政改革の努力を行い、国民の将来に対する不安を取り除けるような仕組みづくりを行うことが必要です。それと同時に、将来に向けた我が国のしつかりした「成長戦略」を提示しなければなりません。そして、これらの政策に対して覚悟を持って決断し、主権者である国民にきちんと説明することが、国政を担う政治家の役割であると思います。

私は、日本国の将来を見据えながら、「自由」と「民主主義」の基本理念、「社会正義」の理念を大切に政治、そして、責任を持って決断をし、実行できる政治の実現を目指し頑張つてまいります。どうぞよろしくお願ひします。

自由民主党千葉県第一選挙区支部長

門山ひろあき

門山ひろあきサポートのお願い

- ポスターを掲示する場所を提供してください。
- ボランティアを募集しています(少しの時間でも結構です)。
- 後援会にご入会ください。
ぜひご家族、お知り合いの方をご紹介ください。
- ミニ集会をご開催ください。
- カンパ・ご寄付のご支援をお願いします。

ご意見・ご要望は
自民党千葉県第一選挙区支部事務所
までどうぞお寄せ下さい。

門山ひろあき

検索

<http://facebook.com/kadoyama.hiroaki>



自民党千葉県第一選挙区支部事務所

〒260-0013
千葉市中央区中央 4-13-31 高嶋ビル1階
TEL: **043(223)0050**
FAX: **043(223)0080**
ホームページ <http://www.kadoyama.net/>
支部メール info@kadoyama.net

門山ひろあき後援会事務所

〒260-0013
千葉市中央区中央 4-13-31 高嶋ビル102
TEL: **043(223)0015**
FAX: **043(223)0016**
後援会メール hiroaki@kadoyama.jp